

公益財団法人日本スポーツ仲裁機構

2025年度第3回臨時理事会議事録

日 時 2025年11月7日（金） 15：00～15：45
場 所 公益財団法人日本スポーツ仲裁機構（オンラインにて開催）
理 事 総 数 13名
出 席 者 理 事 伊東卓、岩田史昭、鹿島丈博、宍戸一樹、高杉重夫、
（全員オンラインで出席） 竹下啓介、藤原正樹、松本泰介、八木由里（9名）
監 事 川原貴、辻居幸一
事務局 高杉重夫、恒石直和、竹内映
欠 席 者 理 事 浅川伸、小幡（成瀬）純子、田口亜希、三阪洋行
議事録作成者 高杉重夫（事務局長）

2025年度第3回臨時理事会は、定款第40条第1項及び第41条に基づき2025年10月24日に電磁的方法をもって招集された。竹下代表理事より、定款42条第1項の規定に従い、議決に加わることのできる理事13名中9名の出席により定足数を満たしたので本理事会は有効に成立した旨及び出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意思表示ができることを確認した。

【議決事項】第1号：業務執行理事選任の件（資料1、2）

竹下代表理事より資料1、2に基づき説明があり、新たに岩田史昭氏を業務執行理事とすることを、全員一致をもって決定した。

【議決事項】第2号：顧問選任の件（資料3）

竹下代表理事より資料3に基づき説明があり、菅原哲朗氏、福島忠彦氏を顧問とすることを、全員一致をもって決定した。

【議決事項】第3号：スポーツ庁補助事業に関する専門家の報酬の基準決定の件（資料4～6）

高杉執行理事より資料4～6に基づき説明があり、全員一致をもって決定した。

【報告事項】第1号：2025年度事業中間報告の件（資料7、8）

伊東執行理事、八木執行理事、高杉執行理事より資料7、8に基づき報告があり、竹下代表理事から補足説明があった。

【報告事項】第2号：その他

高杉執行理事より仲裁判断の取消しについての報告があった。

【質問、意見及びその他報告事項等】

【報告事項 第2号について】

宍 戸 理 事：仲裁判断の取消しの決定なので、恐らく裁判例としては公表されないものとして理解しているが、差し支えない範囲で内容をご教示いただければ幸いである。

恒 石 専 門 員：自動応諾条項の守備範囲について争われ、自動応諾条項による仲裁合意が当

該案件には及ばないとされたものである。

自動応諾条項の問題については、当該事案について特定できないようにした上で、今年度開催の第3回目のスポーツ仲裁法研究会のテーマでも取り扱った。

高 杉 理 事：自動応諾条項については、下部組織への適用や懲戒規則中に記載され、その守備範囲が限定されるなどの様々な問題があり、議論した。

松 本 理 事：新体制になったということもあるので、1年に1度くらいは対面で理事会開催することも検討していただきたい。

高 杉 理 事：第4期スポーツ基本計画の策定に向けた関係団体からのヒアリングの日程調整連絡がスポーツ庁からあり、対応する。

なお、オンラインによる本理事会は通信システムの異常なく終了した。

以上

配布資料

- 資料 1 定款（一部抜粋）
- 資料 2 業務執行理事分担
- 資料 3 顧問
- 資料 4 スポーツ仲裁・調停等事業・専門員の契約条件等について
- 資料 5 スポーツ庁補助事業に係る専門家の報酬
- 資料 6 2025年度スポーツ庁委託事業に係る報酬について
- 資料 7 2025年度事業報告（中間）
- 資料 8 別紙_J S A A取扱事案数
- 資料 9 役員名簿

上記の通り相違ありません。

2025年11月19日

公益財団法人日本スポーツ仲裁機構理事会

議長： 竹 下 啓 介 / s /

監事： 川 原 貴 / s /

監事： 辻 居 幸 一 / s /